

平成22年度予算編成について

に季節性インフルエンザの予防対策について  
三 古い消火器による破裂事故を未然に防ぐための本市の対策について



矢口 清 議員

**質問** 今年8月、民主党への政権交代が実現したものの、来年度も急速な景気回復は見込めず、今年度と同様に税収の落ち込みは続くと思われる。経済も政治も混迷を増す中において、平成22年度予算編成の基本的な考え方について伺う。

**市長** 歳入については、社会経済情勢の変化や税制改正の動向を把握し、税負担の公平性の見地から、徴収率の向上に最大限努めてまいりたい。また、政権交代により、国庫補助制度改革等が予想されることから、その動向を的確に把握し、補助金交付制度を効果的に活用して財源確保に努めてまいりたい。歳出に

関しては、施策や事業の優先性、緊急性等を慎重に検討するとともに、市民との協働や民間活力の導入を進め、最少の経費で最大の効果が得られるよう、創意工夫により改善してまいりたい。

市制施行70周年記念事業に  
関しての抱負と決意について



小林幸子 議員

**質問** 平成22年度は、本市もいよいよ市制70周年を迎えるということであり、各種記念事業が盛大に実施されるものと思われる。混迷した世相の時だからこそ、市民との協働の70周年を迎えるべきと思うが、市長の意気込みと決意を伺う。

**市長** 本市の今日までの発展は、多くの先人たちのたゆまぬ努力と明日への希望の積み重ねによるものであり、改めて深甚なる敬意を表するものである。70周年記念事業については、現在、庁内にワーキングチームを立ち上げており、記念式典や記念イベント

の内容、またシンボルキャラクターの作成等について検討を重ねている。次代を担う子どもたちや高齢者の方など、多くの市民が参加でき、記憶に残る記念の年となるような事業の展開を検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

二 新政権の事業仕分けによる本市の各課への影響について

三 市内の公園整備について

新川の整備・浄化に向けて県・市・NPO・地域等で意見交換会を開催してはどうか



井坂正典 議員

**質問** 新川の整備・浄化については、いずれも県の管轄であり、市として主体的取り組みが十分できない限界がある。しからばまず、新川の浄化・整備を志す全ての人たちが一堂に会し、意見交換をすることが緊急かつ重要な取り組みではないかと考える。ぜひ実現に向けてお願いしたい。

**市民生活部長** 現在の具体的な取り組みとしては、去る11月に開催した環境問題地区懇談会において、新川と関係の深い一中、二中地区の地区長、地区市民委員会の環境部長、副部長、さわやか環境推進員などの皆さまにご出席いただき、

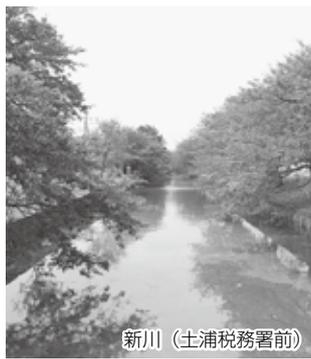
新川をきれいにする活動についてのご協力をお願いしている。議員ご提案の意見交換会については、新川の浄化を協働の形で進めるためにも、実現の方向で取り組みたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)

一 バリアフリーのまちづくり推進について

三 旧政府・自民党が行った緊急経済対策で、土浦市はどのような手を打ったのか。そしてどのような効果を期待しているのか。

四 公契約条例の制定に向けた本市の考え方は



新川 (土浦税務署前)

手話通訳者について

耳の不自由な方が本会議の傍聴を希望される場合には、手話通訳者の派遣を依頼いたします。

ご利用の際には、少なくとも一週間前までに議会事務局へお申し込みください。



議会を傍聴してみませんか  
詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしております。

- 電話 029(826)1111 内線 2277
- FAX 029(826)3379